



®環境省

2016年度 環境活動レポート

エコアクション21
認証・登録番号0001707



< 2016年度版 >
2015年10月～2016年9月

[第11版]

大日工業株式会社

作成：2016年12月1日

I 組織の概要

1 会社概要

会社名 : 大日工業株式会社
代表者 : 代表取締役 川瀬昌之
所在地 : 本社工場 静岡市清水区辻1丁目9番30号
: 興津工場 静岡市清水区興津中町1123-7
従業員数 本社工場 53名
興津工場 22名
合計 75名 (2015/10/1現在)

2 環境管理の責任者氏名連絡先

責任者 専務取締役 山田洋正
TEL 054-367-0573
FAX 054-367-0570
ホームページ <http://www.dainichi-ind.jp>
E-mail h.yamada@dainichi-ind.co.jp

3 沿革

1966年10月 清水市寿町2丁目43番地に羽布研磨業を中心とする大日工業を創業
1970年 4月 法人組織に改め大日工業株式会社(資本金500万円)を設立
1980年11月 本社及び清水工場を新築
1994年12月 資本金1,000万円に増
2000年10月 興津工場を新設
2007年 7月 エコアクション21 認証登録
2009年 月 エコアクション21 更新
2011年 月 エコアクション21 更新
2012年11月 自社開発商品「ははのて」販売開始
2013年 7月 エコアクション21 更新
2015年 7月 エコアクション21 更新

4 事業内容

事業活動 電子プリント基板の組立製造

対象事業所 本社工場、興津工場

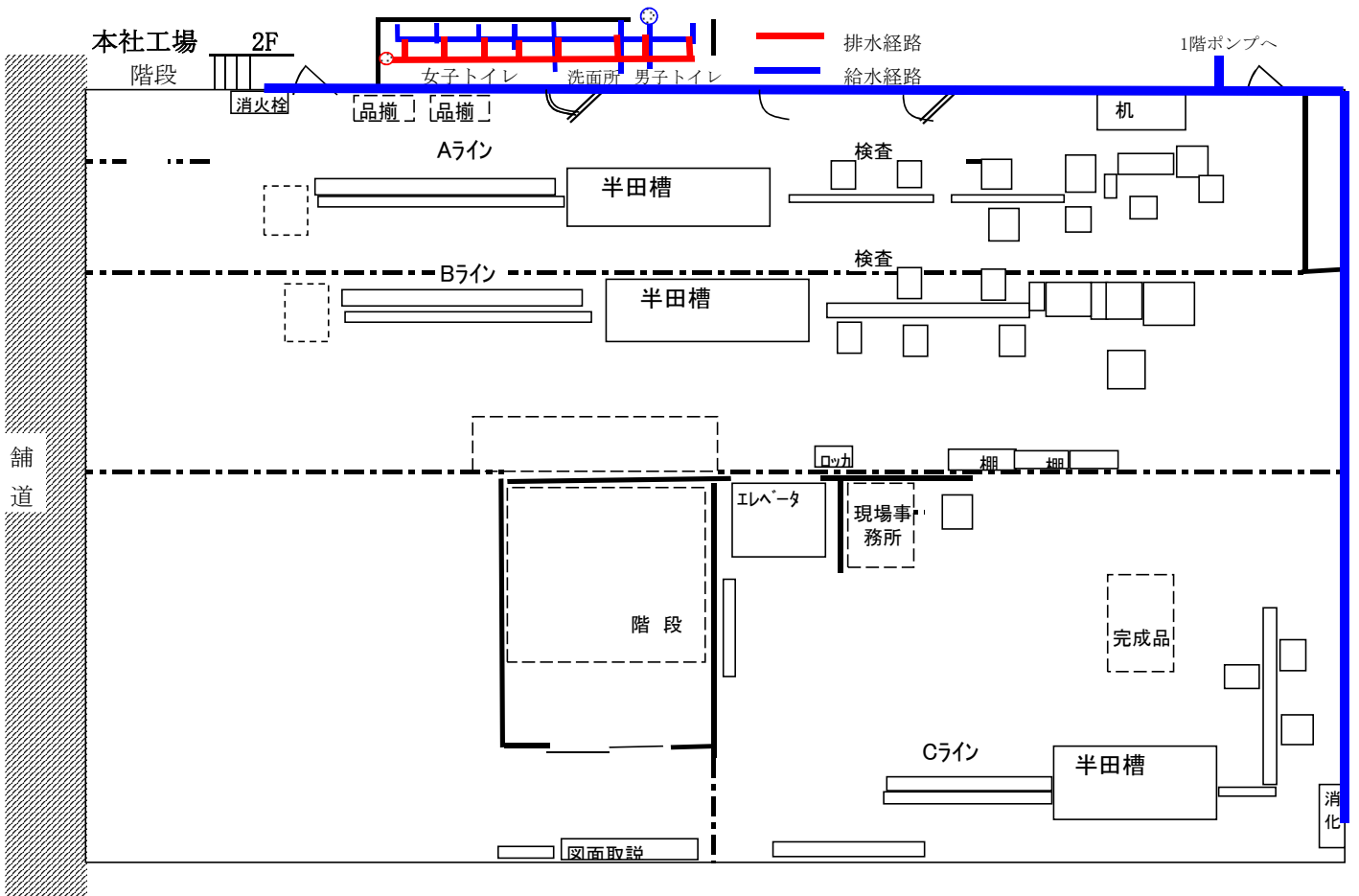
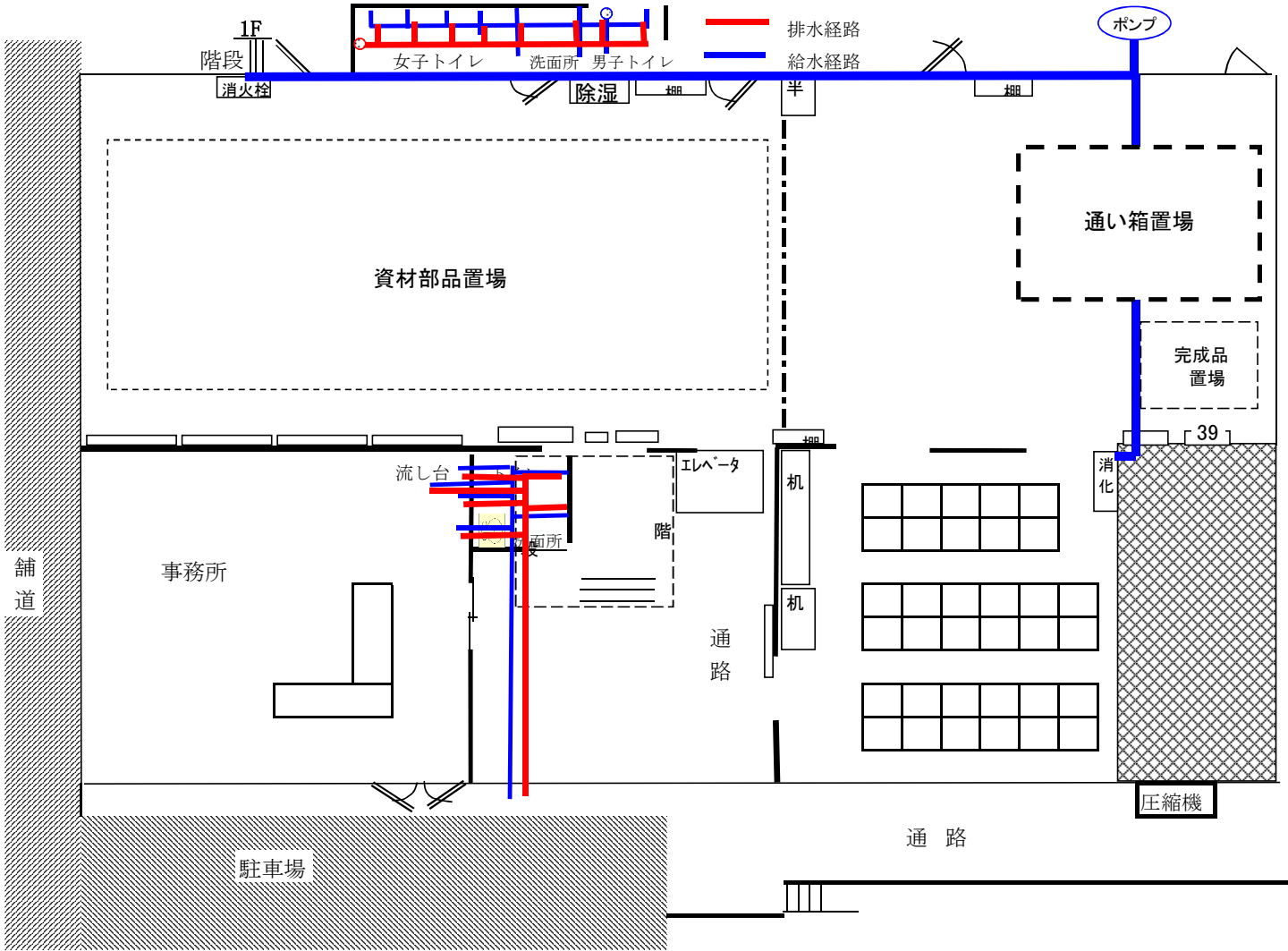
5 事業の規模

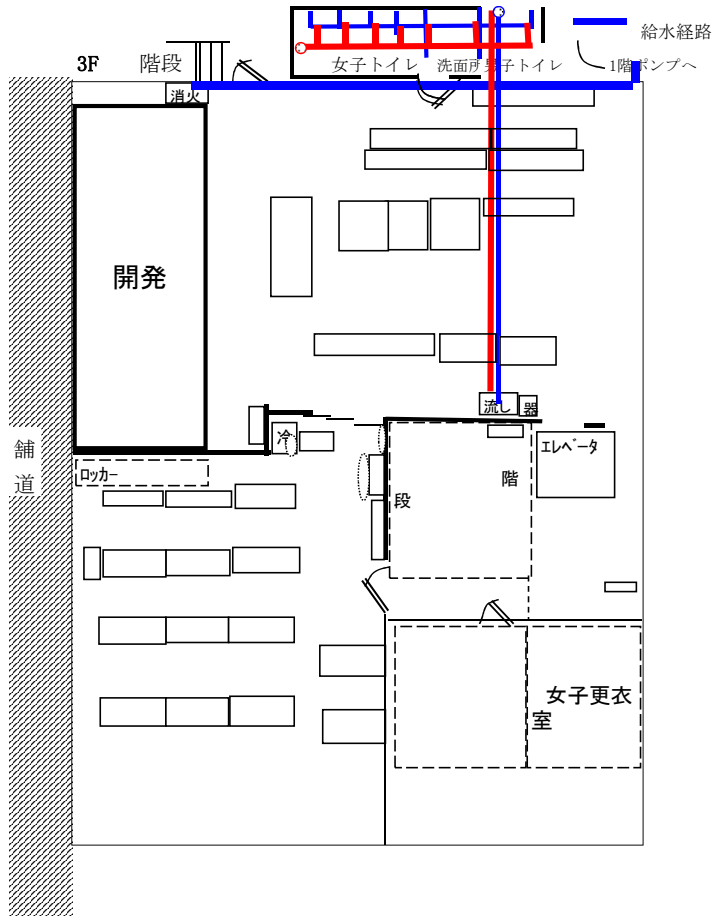
単位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
売上高(百万円)	3,125	2487	2603	2783	2507	2597
従業員(人)	78	77	69	73	73	75

*2016年度は、2015年10月～2016年9月

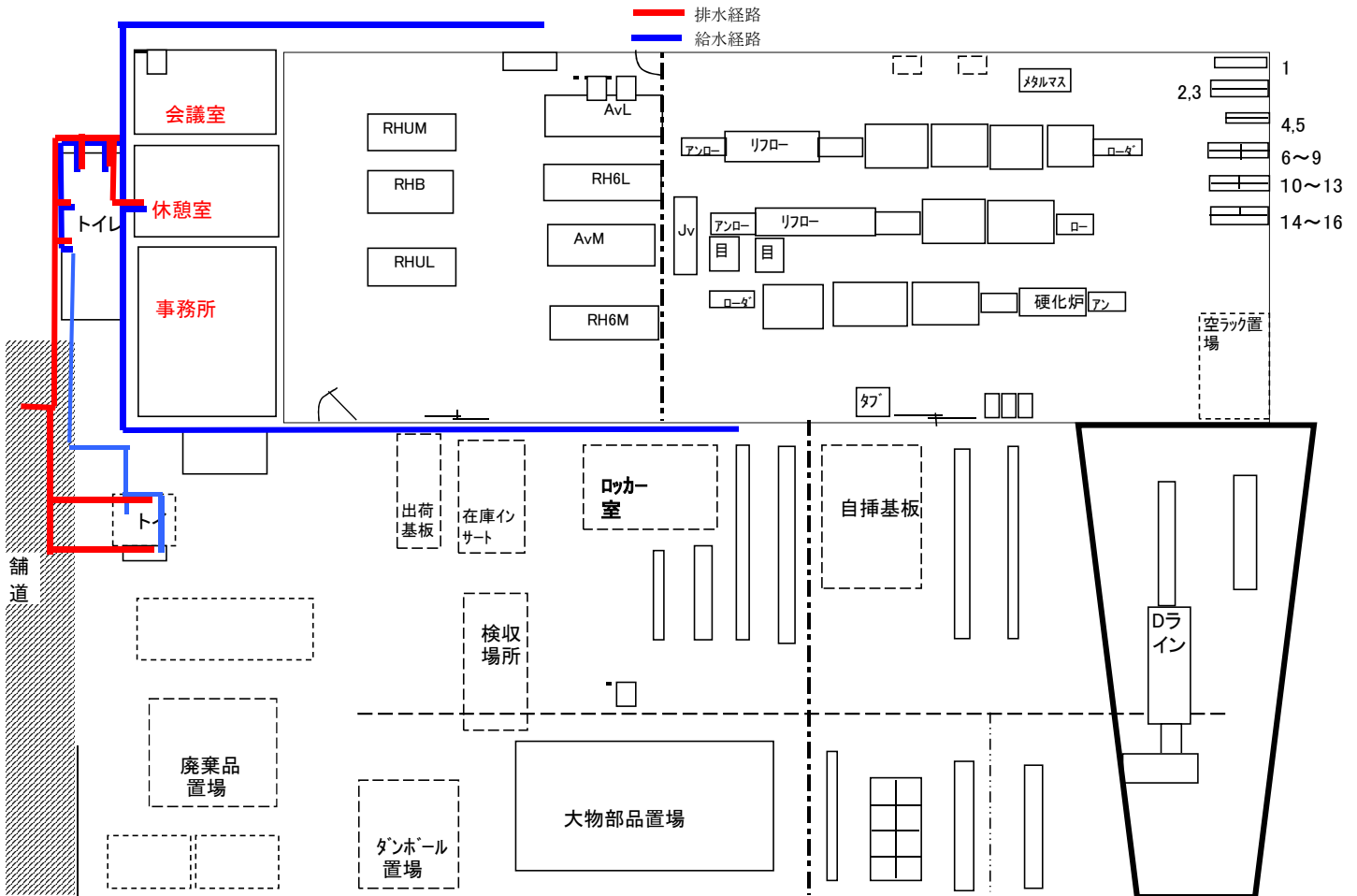
6 敷地概要

①本社工場

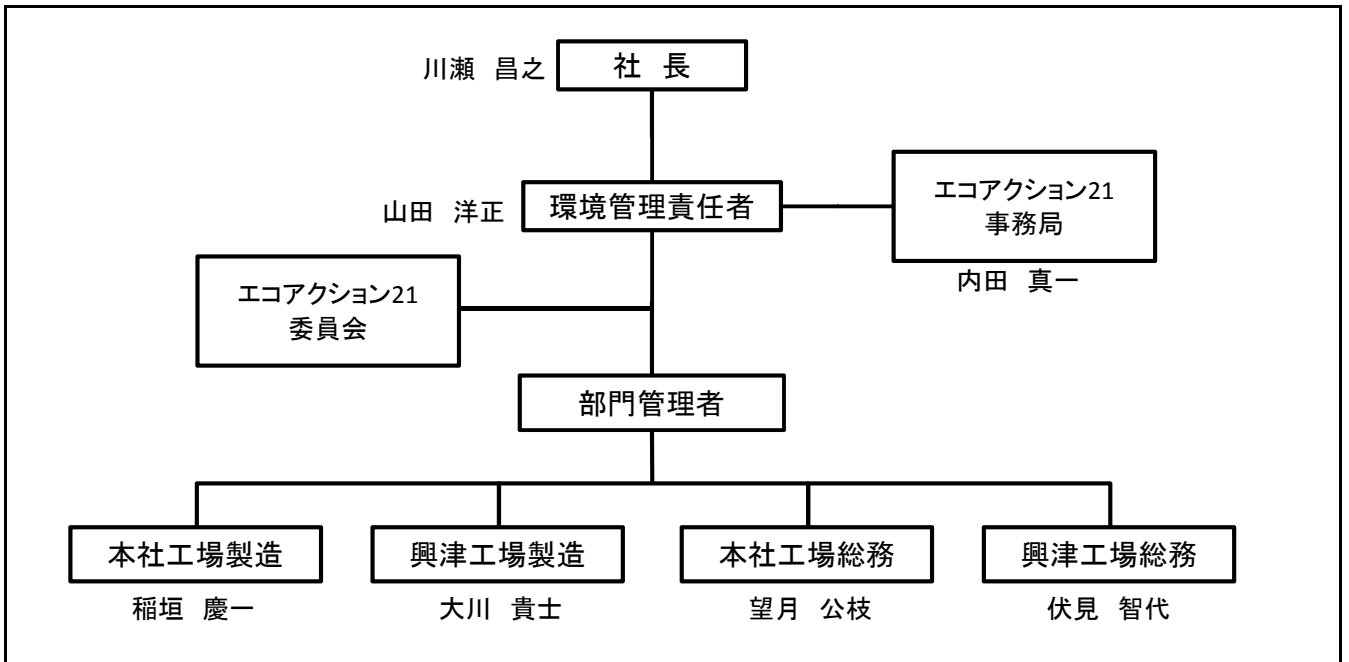




②興津工場



7 エコアクション21推進組織



(2) 社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通り定める。

① 社長

- ・環境経営システムの構築、環境経営マニュアルの制定並びに見直し
- ・環境管理責任者の任命
- ・環境方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境活動計画の承認
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・緊急事態発生時の統括

② 環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境活動計画の推進状況把握と社長への報告
- ・該当環境関連法規等の把握と管理
- ・緊急事態発生時の対応実施と報告
- ・問題点発生に対する是正及び予防措置の対応指導
- ・社長による環境経営システムの見直しのための情報を提供

③ EA21事務局

- ・環境方針、環境目標、環境活動計画の立案
- ・環境活動計画の進捗確認及び環境管理責任者への報告
- ・環境経営システムに関する規定類の整備
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括

④ 部門管理者

- ・環境活動計画の推進と必要とする資源の準備
- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告
- ・運用管理、監視・測定、記録管理

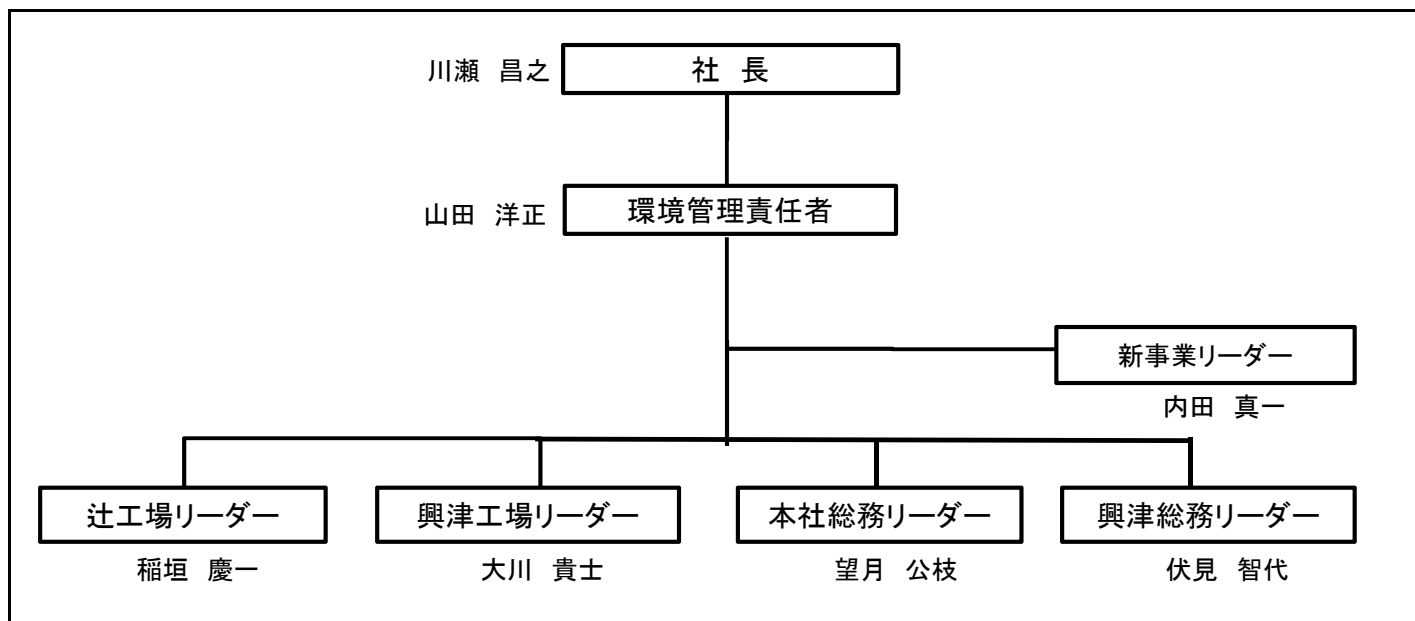
⑤ 全従業員

- ・環境方針の確認・理解を行う
- ・各個人が取組を実施する
- ・環境改善に関する提案

⑥ EA21委員会

- ・事務局とともに年間活動計画の策定を行う
 - ・環境への取組の自己チェックリストに従って月次パトロールを行う
 - ・環境関連のセミナー・フォーラム等へ参加し情報収集を行う
 - ・教育(勉強会)の準備と実施
- 別紙-委員会メンバー表

エコアクション委員会新メンバー表



EA21委員会 2015年10月～2017年9月（2年間の任期） 委員長・副委員長の任期も2年とする

- 役割
- ・事務局とともに年間活動計画の策定を行う
 - ・環境への取組の自己チェックリストに従って月次パトロールを行う
 - ・環境関連のセミナー・フォーラム等へ参加し情報収集を行う
 - ・社内への新しい環境取り組みについての研究と提案
 - ・教育（勉強会）の準備と実施
 - ・レポートの記入とまとめ
 - ・社外EA21グループとの交流

委員会活動日 毎偶数月 第一水曜日 午前10時 ～ 午前11時
祝日・行事の場合翌週の水曜日とする

エコアクション委員会メンバー表			活動期間	2015年10月 ～ 2017年9月	
委員長	環境責任者	山田専務	委員	辻工場	中村 亮介
副委員長(辻)	辻リーダー	稲垣課長	委員	辻工場	今尾 律子
副委員長(興津)	興津リーダー	大川課長	委員	興津工場	佐藤 達彦
事務局	本社総務リーダー	望月 公枝	委員	興津工場	水野 洋男
事務局	興津総務リーダー	伏見 智代	委員	新事業	吉澤 正和
活動レポート担当	新事業リーダー	内田部長	委員	新事業	鈴木 康文

任期終了2ヶ月前(8月)に次期メンバーの公募又は選出を行い社長・前委員長・前副委員長の4名により新委員長を決める。新委員長は新メンバーから副委員長2名を決める
委員会委員として辻工場2名・興津工場2名・新事業2名を選出 委員は各職場での推進活動を行う

Ⅱ 環境方針

大日工業(株) 環境方針

環境基本理念

大日工業株式会社は、電子制御製品の製造過程における全ての工程で自然環境を保全することを念頭に置いた生産活動を行なうことを基本とし、地球環境の更なる向上に努めます。

環境基本方針

- 1, 環境保全に関する法規を遵守するとともに自主的に基準設定をし安全な環境の基で生産活動をします。
- 2, 環境破壊となるCO2の排出量の削減、生産時に発生する産業廃棄物の削減、会社全体で使われる上水道の節水に努力します。
- 3, 環境保全を行う目的で全社員の環境教育を実施し、社員が環境保全へ積極的に取り組む活動を奨励します。
- 4, 環境保全についての情報を社内外に対して発信しコミュニケーションを重視した環境づくりをしていきます。
- 5, グリーン購入の推進及び化学物質の適正管理、さらに自らが生産する製品に関する環境配慮に取り組をします。
- 6, この環境方針を公表し関係会社、協力会社への方針の周知など環境保全に努めます。

2012年 7月 1日 改訂
2006年 12月 1日 作成

大日工業株式会社

社長 川瀬昌之

Ⅲ 環境目標

環境目標値は、2015年度実績値を基準として策定した。

環境目標項目	目標削減率 単位	基準年度 2015年実績	前年度比	前年度比	前年度比
			今期目標 2016年	2017年	2018年
二酸化炭素排出削減-省エネ推進	%		-2.9%	-1.9%	-1.9%
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	311347.16	302346.02	296467.04	290703.96
電力量の削減	%		-3.0%	-2.0%	-2.0%
購入電力量	kWh	573847.00	556631.59	545498.96	534588.98
ガソリンの削減	%		-1.0%	-1.0%	-1.0%
ガソリン購入量	L	1040.04	1029.64	1019.34	1009.15
軽油の削減	%		-1.0%	-1.0%	-1.0%
軽油購入量	L	5609.20	5553.11	5497.58	5442.60
廃棄物排出量削減	%		-2.0%	-1.3%	-1.0%
廃棄物の総排出量	t	1.83	1.79	1.77	1.75
産業廃棄物の削減	%		-3.0%	-1.0%	-1.0%
引火性廃油の排出量	t	1.18	1.14	1.13	1.12
産業廃棄物の削減	%		-1.0%	-1.0%	-1.0%
廃プラスチックの排出量	t	0.65	0.64	0.64	0.63
排水量削減-節水の徹底	%		-1.0%	-1.0%	-1.0%
水の総排出量	m ³	1255.00	1242.45	1230.03	1217.73
水道水の節水	%		-1.0%	-1.0%	-1.0%
上水排出量	m ³	1255.00	1242.45	1230.03	1217.73
化学物質の削減	%		-1.4%	-1.0%	-1.0%
	t	0.442	0.436	0.431	0.427
鉛			-2.0%	-1.0%	-1.0%
共晶はんだ購入量の把握・管理	t	0.183	0.179	0.178	0.176
銀			-1.0%	-1.0%	-1.0%
Pbフリーはんだ購入量の把握・管理	t	0.253	0.250	0.248	0.245
ビスフェノールA型エポキシ樹脂			-1.0%	-1.0%	-1.0%
接着剤購入量の把握・管理	t	0.0058	0.006	0.006	0.006
グリーン購入					
グリーン購入品目比率(一般購入品)	%	63.6%	70.0%	70.0%	70.0%
グリーン購入品目比率(電子部品)	%	68.2%	70.0%	70.0%	70.0%
自らが生産・提供する製品及びサービスに 関する環境配慮					
品質損(基板破損, 部品破損)	円	¥1,011,771	¥800,000	¥800,000	¥800,000

* 二酸化炭素排出係数

購入電力: 0.513 kg-CO2/kWh

ガソリン: 0.0671kg-CO2/MJ 34.6MJ/L

軽油: 0.0679kg-CO2/MJ 38.2MJ/L

化学物質の削減目標は、共晶製品の受注量を原単位として設定する。

V 環境目標の実績

環境目標値は、2015年度実績値を基準として策定した。

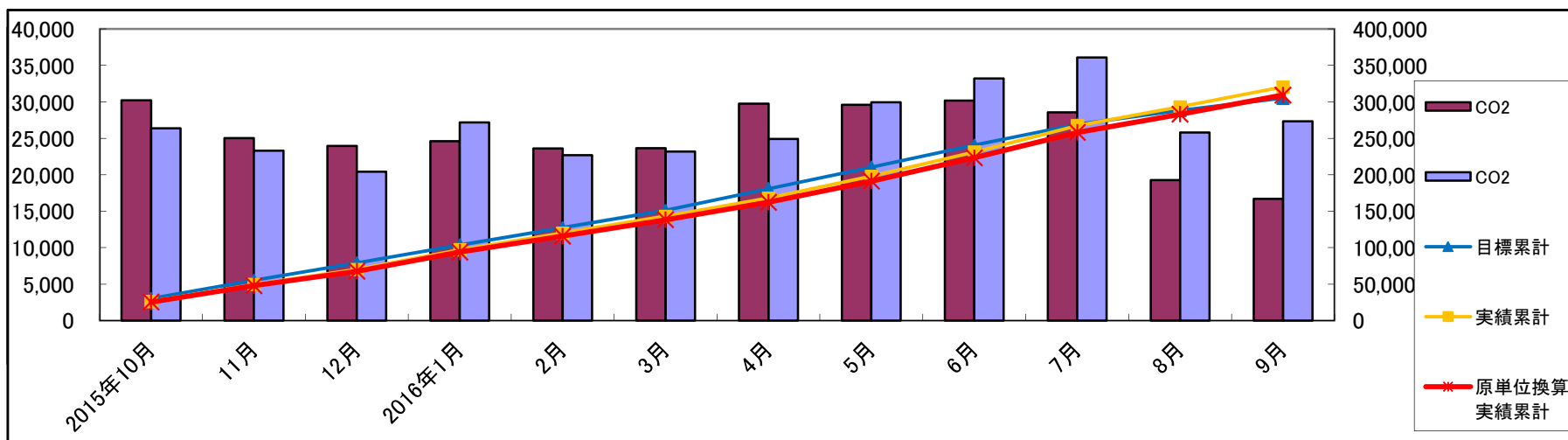
環境目標項目	単位	基準年度	今期目標	評価年度	103.6%	目標削減率
		2015年実績	2016年	2016年	生産高比	達成評価
二酸化炭素排出削減-省エネ推進	%		-2.9%	102.9%	99.4%	-0.6%
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	311347.16	302346.02	320468.16	309362.21	×
電力量の削減	%		-3.0%	102.1%	98.5%	-1.5%
購入電力量	kWh	573847.00	556631.59	585752.00	565452.55	×
ガソリンの削減	%		-1.0%	158.7%	153.2%	+53.2%
ガソリン購入量	L	1040.04	1029.64	1650.67	1593.47	×
軽油の削減	%		-1.0%	111.0%	107.1%	+7.1%
軽油購入量	L	5609.20	5553.11	6224.54	6008.83	×
廃棄物排出量削減	%		-2.0%	91.8%	88.6%	-11.4%
廃棄物の総排出量	t	1.83	1.79	1.68	1.62	○
産業廃棄物の削減	%		-3.0%	100.0%	96.5%	-3.5%
引火性廃油の排出量	t	1.18	1.14	1.18	1.14	○
産業廃棄物の削減	%		-1.0%	76.9%	74.3%	-25.7%
廃プラスチックの排出量	t	0.65	0.64	0.50	0.48	○
排水量削減-節水の徹底	%		-1.0%	97.9%	94.5%	-5.5%
水の総使用量	m ³	1255.00	1242.45	1229.00	1186.41	○
水の使用量削減	%		-1.0%	97.9%	94.5%	-5.5%
上水使用量	m ³	1255.00	1242.45	1229.00	1186.41	○
化学物質の削減	%		-1.4%	73.0%	70.4%	-29.6%
	t	0.442	0.436	0.3225	0.3113	○
鉛			-2.0%	33.3%	32.2%	-67.8%
共晶はんだ購入量の把握・管理	t	0.183	0.179	0.0611	0.0589	○
銀			-1.0%	101.3%	97.8%	-2.2%
Pbフリーはんだ購入量の把握・管理	t	0.253	0.250	0.2562	0.2474	○
ビスフェノールA型エポキシ樹脂			-1.0%	90.0%	86.9%	-13.1%
接着剤購入量の把握・管理	t	0.006	0.006	0.0052	0.0050	○
グリーン購入						
グリーン購入品目比率(一般購入品)	%	63.6%	90.0%	83.3%	83.3%	×
グリーン購入品目比率(電子部品)	%	68.2%	80.0%	52.5%	52.5%	×
自らが生産・提供する製品及びサービスに関する環境配慮						
品質損(基板破損, 部品破損)	円	¥1,011,771	¥700,000	50.0%	48.3%	-51.7%
				¥506,151	¥488,610	○

* 二酸化炭素排出係数
 購入電力: 0.513 kg-CO2/kWh
 ガソリン: 0.0671kg-CO2/MJ
 軽油: 0.0679kg-CO2/MJ
 27年度提出用より
 34.6MJ/L
 38.2MJ/L

2016/3/31目標値修正
 グリーン購入: 変更不可品を除いた目標へ変更
 品質損 : 半期での見直しで目標を厳しく再設定

VI 環境活動計画の取組結果とその評価

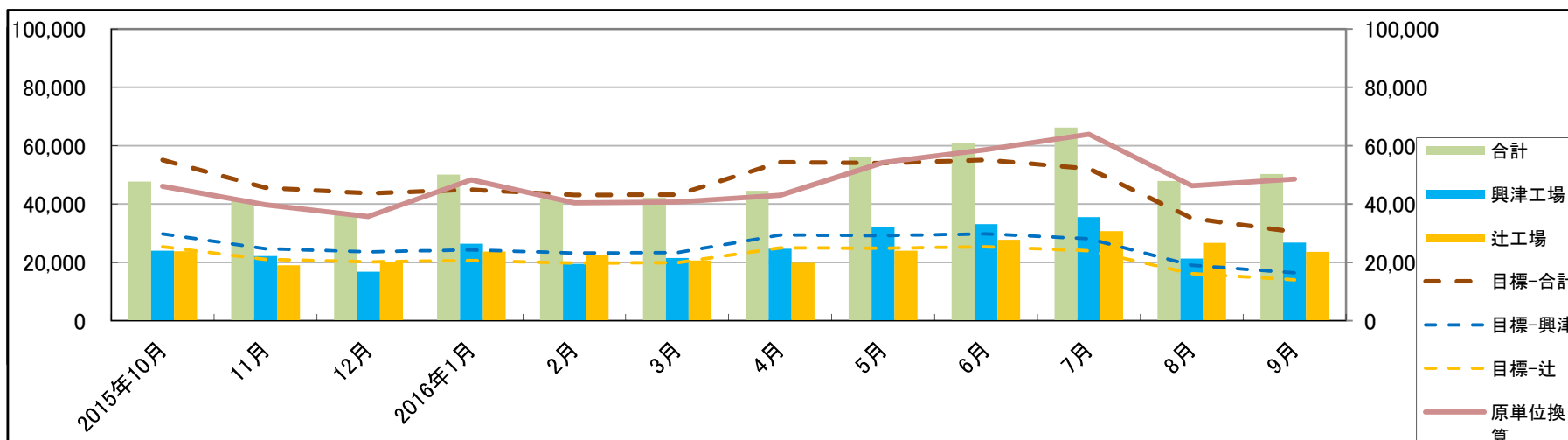
1 二酸化炭素排出量の削減



二酸化炭素排出削減		2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標値	CO ₂	30213.79	25012.81	23953.98	24620.85	23597.64	23661.55	29767.25	29608.41	30181.43	28561.23	19254.98	16686.28	305120.20
	電力量	55119.09	45630.94	43699.31	44915.88	43049.24	43165.82	54304.47	54014.71	55060.07	52104.33	35126.91	30440.83	556631.60
	ガソリン	101.95	84.40	80.83	83.08	79.63	79.84	100.45	99.91	101.84	96.38	64.97	56.31	1029.60
	軽油	549.88	455.23	435.96	448.09	429.47	430.63	541.76	538.86	549.29	519.81	350.44	303.69	5553.10
実績値	CO ₂	26384.11	23285.87	20424.04	27197.85	22685.52	23176.68	24930.60	29952.71	33205.44	36091.68	25800.24	27333.43	320468.16
	電力量	47732.00	41115.00	37018.00	50054.00	41894.00	42123.00	44488.00	56129.00	60777.00	66200.00	47896.00	50326.00	585752.00
	ガソリン	178.97	338.17	189.63	16.08	41.71	71.75	96.26	59.60	235.41	200.82	139.04	83.23	1650.67
	軽油	571.40	543.13	383.05	571.68	422.96	540.14	726.65	393.31	570.71	641.86	349.60	510.05	6224.54
目標累計		30213.79	55226.60	79180.58	103801.43	127399.07	151060.62	180827.86	210436.27	240617.71	269178.94	288433.92	305120.20	305120.20
実績累計		26384.11	49669.98	70094.02	97291.86	119977.39	143154.07	168084.67	198037.37	231242.81	267334.49	293134.73	320468.16	320468.16
原単位換算実績累計		25469.76	47948.65	67664.88	93920.18	115819.53	138193.01	162259.63	191174.32	223229.01	258069.92	282976.04	309362.21	309362.21
(省エネルギー)(Kg-CO ₂)													原単位換算 CO ₂ 排出量	309362.21
													原単位換算 目標達成率	98.6%

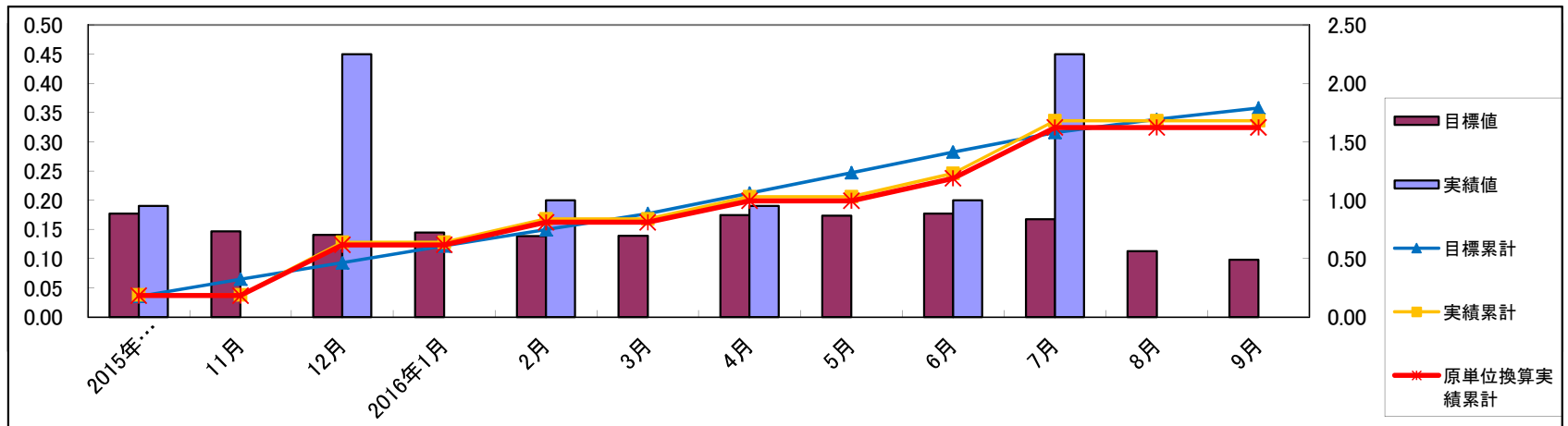
取組実績	結果と評価
<p>毎月にデマンド目標値を設定し、電力使用量が少ない月の電力量削減活動も数値で見えるようにした。</p> <p>昨年までと同様にグリーンカーテンを西窓側に設置し、室温上昇を抑えた。</p> <p>資材の窓に遮熱カーテンを取り付け室温上昇を抑えた。</p> <p>照明のLED可をすすめ、消費電力の引き下げを行った。</p>	<p>目標305120.20に対して実績309362.21(原単位換算)、CO₂排出量▲0.6%と目標未達だった。</p> <p>4月までは目標クリアしていたが、5月～9月は気温上昇と角時間延長により電力量が増え、通年で目標未達となってしまった。夏場の電力量削減が来期の最重要課題となる。</p> <p>また、年度頭に目標を設定しても後半は売上予測が大幅に変わるため、3月で目標見直しが必要である。</p>

電力量の削減



電力量		2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標値	目標-合計	55119.09	45630.94	43699.31	44915.88	43049.24	43165.82	54304.47	54014.71	55060.07	52104.33	35126.91	30440.83	556631.60
	目標-興津	29764.31	24640.71	23597.63	24254.57	23246.59	23309.54	29324.41	29167.94	29732.44	28136.34	18968.53	16438.05	300581.06
	目標-辻	25354.78	20990.23	20101.68	20661.30	19802.65	19856.28	24980.05	24846.77	25327.63	23967.99	16158.38	14002.78	256050.54
実績値	合計	47732.00	41115.00	37018.00	50054.00	41894.00	42123.00	44488.00	56129.00	60777.00	66200.00	47896.00	50326.00	585752.00
	興津工場	23963.00	22125.00	16819.00	26362.00	19434.00	21537.00	24653.00	32150.00	33086.00	35493.00	21261.00	26739.00	303622.00
	辻工場	23769.00	18990.00	20199.00	23692.00	22460.00	20586.00	19835.00	23979.00	27691.00	30707.00	26635.00	23587.00	282130.00
	原単位換算	46077.83	39690.14	35735.13	48319.36	40442.15	40663.21	42946.25	54183.83	58670.75	63905.81	46236.15	48581.93	565452.55
目標累計		55119.09	100750.04	144449.34	189365.22	232414.46	275580.29	329884.75	383899.46	438959.53	491063.86	526190.77	556631.60	556631.60
実績累計		47732.00	88847.00	125865.00	175919.00	217813.00	259936.00	304424.00	360553.00	421330.00	487530.00	535426.00	585752.00	585752.00
(省エネルギー)(Kg-CO ₂)													原単位換算 電力量	565452.55
													原単位換算 目標達成率	98.4%

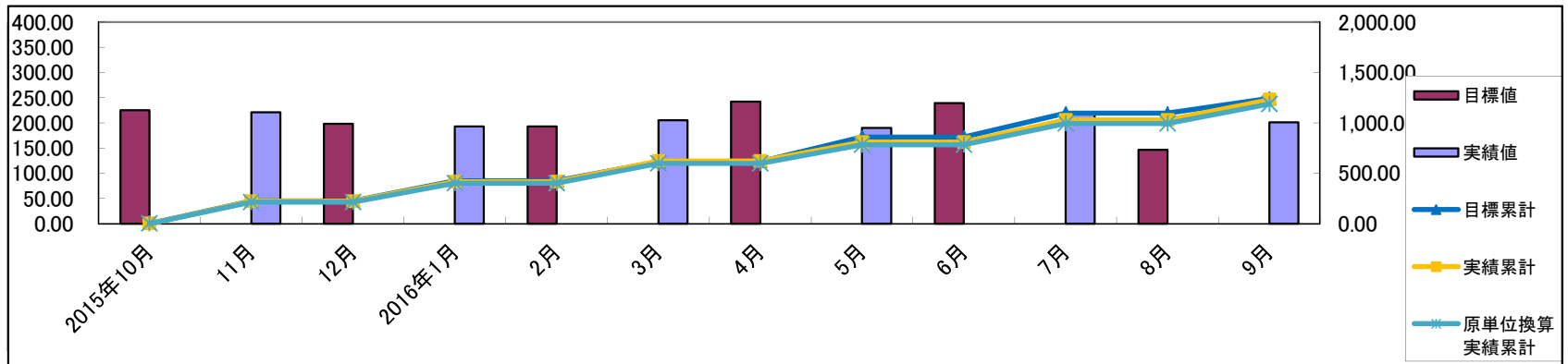
2 廃棄物排出量の削減



廃棄物排出量の削減(t)	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標値	0.18	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.17	0.17	0.18	0.17	0.11	0.10	1.79
実績値	0.19	0.00	0.45	0.00	0.20	0.00	0.19	0.00	0.20	0.45	0.00	0.00	1.68
目標累計	0.18	0.32	0.46	0.61	0.75	0.89	1.06	1.23	1.41	1.58	1.69	1.79	1.79
実績累計	0.19	0.19	0.64	0.64	0.84	0.84	1.03	1.03	1.23	1.68	1.68	1.68	1.68
原単位換算実績累計	0.18	0.18	0.62	0.62	0.81	0.81	0.99	0.99	1.19	1.62	1.62	1.62	1.62
原単位換算 廃棄物排出量													1.62
原単位換算 目標達成率													110.4%

取組実績	結果と評価
廃棄物の分別の徹底。	目標1.79に対して実績1.62(原単位換算)、廃棄物発生量▲11.4%と目標達成した。 廃棄物の分別徹底によるリサイクル率向上と、昨年課題だった引火性廃油の削減により目標を達成することが出来た。 来期はリサイクルも含めた排出量削減の活動を上流に対しても行う(リデュース)

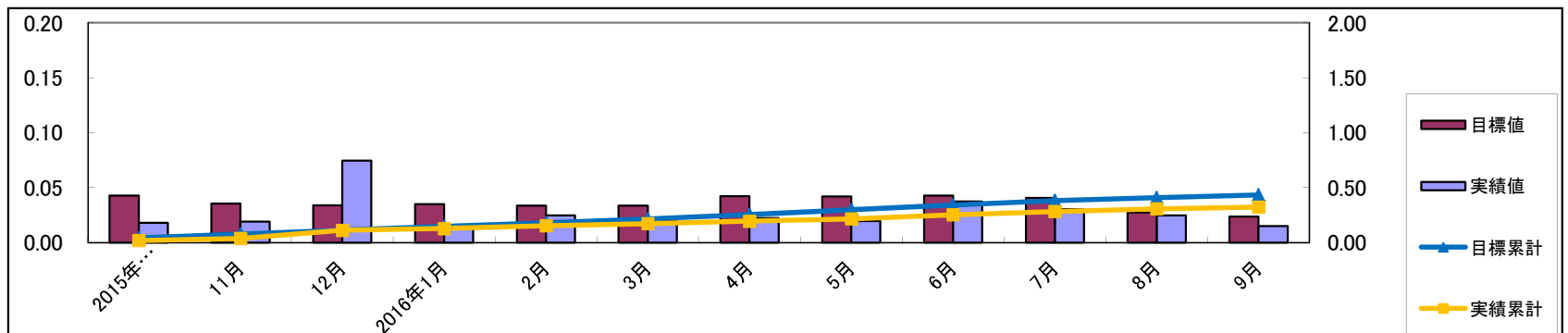
3 総排水量の削減



上水道量(m³)	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標値		224.88		197.80		192.44		241.78		239.20		146.35	1242.45
実績値		221.00		193.00		205.00		190.00		219.00		201.00	1229.00
目標累計	0.00	224.88	224.88	422.68	422.68	615.12	615.12	856.90	856.90	1096.10	1096.10	1242.45	1242.45
実績累計	0.00	221.00	221.00	414.00	414.00	619.00	619.00	809.00	809.00	1028.00	1028.00	1229.00	1229.00
原単位換算実績累計	0.00	213.34	213.34	399.65	399.65	597.55	597.55	780.96	780.96	992.37	992.37	1186.41	1186.41
原単位換算 総排水量													1186.41
原単位換算 目標達成率													104.7%

取組実績	結果と評価
生活用水の節水徹底。 雨水の利用。 トイレの消音機。	目標1242.45に対して実績1186.41(原単位換算)、総排水量▲5.5%と目標達成した。 今期は社内に水素水サーバを設置し従業員が水素水を利用したため、使用料の増加が懸念されたが、昨年同様トイレの消音機や雨水の利用、水を使わない清用品使用などの活動を行い、結果目標をクリアできた。

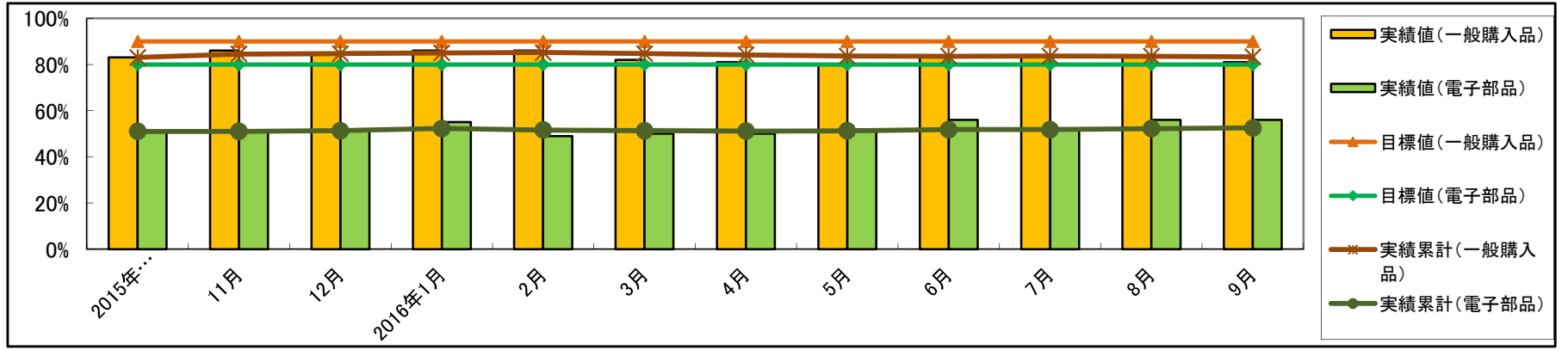
4 化学物質購入量



化学物質購入量	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
目標値	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.02	0.43
実績値	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.03	0.02	0.02	0.32
目標累計	0.04	0.08	0.11	0.15	0.18	0.21	0.26	0.30	0.34	0.38	0.41	0.43	0.43
実績累計	0.02	0.04	0.11	0.13	0.15	0.17	0.20	0.22	0.25	0.28	0.31	0.32	0.32
原単位換算実績累計	0.02	0.04	0.11	0.12	0.15	0.17	0.19	0.21	0.24	0.27	0.30	0.31	0.31
原単位換算 化学物質購入量													0.31
原単位換算 目標達成率													139.1%

取組実績	結果と評価
共晶製品の生産量減。 設備保守によるはんだドロス発生量削減。	目標0.43に対して実績0.31(原単位換算)、購入量▲29.6%と目標達成した。 共晶製品の生産量減にともない対象物質の鉛購入量が減ったため、化学物質購入量が大幅に下がった。 設備保守によるはんだドロスの発生低減も寄与している。

5 グリーン購入



グリーン購入品目比率	2015年10月	11月	12月	2016年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計		
目標値(一般購入品)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%		
目標値(電子部品)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		
実績値(一般購入品)	83.0%	86.0%	85.0%	86.0%	86.0%	82.0%	81.0%	80.0%	83.0%	84.0%	83.0%	81.0%			
実績値(電子部品)	51.0%	51.0%	52.0%	55.0%	49.0%	50.0%	50.0%	52.0%	56.0%	52.0%	56.0%	56.0%			
実績累計(一般購入品)	83.0%	84.5%	84.7%	85.0%	85.2%	84.7%	84.1%	83.6%	83.6%	83.6%	83.5%	83.3%	83.3%		
実績累計(電子部品)	51.0%	51.0%	51.3%	52.3%	51.6%	51.3%	51.1%	51.3%	51.8%	51.8%	52.2%	52.5%	52.5%		
													達成率(一般購入品)	93%	
														達成率(電子部品)	66%

取組実績	結果と評価
購入品のリスト管理 購入時にGマーク、リサイクル品等を優先して選定	一般購入部品 83.3%、電子部品 52.5% と何れも目標未達だった。 グリーン購入に対する取組は出来ているので、次年度は目標設定を見直す必要がある。(変更不可品の除外)
	×

VII 次年度への取組内容

1.二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	推進部門 推進担当者	2017年度 スケジュール												評価
			2016年10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 電力消費量削減	1 デマンド設定と電力量管理 ピークカット(設備, 照明, 空調)	企画・経理 内田, 望月	デマンド値の月次変更												
		開発 内田	フィルタ清掃徹底 照明のLED化												
	2 不要箇所・設備の電源OFFの徹底	ea委員会	月次パトロール												->
	3 室温の管理と空調温度設定 グリーンカーテン設置	製造 大川K, 長谷川K	室温で20℃												->
		総務・企画 ea委員会	エアコン圧縮機省エネ運転化検討 室温で28℃												->
	4 エアー漏れ有無の確認	技術 ea委員会	月次チェック->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	->
進捗結果と評価		数値 評価/単月													
2 消費燃料削減	1 社用車使用の集約・削減	配送・総務 長谷川, 望月	出荷物前日完成の徹底 エコドライブ説明												エコドライブ説明
		数値 評価/単月													

2.廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	推進部門 推進担当者	2017年度 スケジュール												評価
			2016年10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 廃棄量の削減	1 廃棄量の把握と分別徹底	製造 ea委員会	分別徹底のPR												分別徹底のPR
		数値 評価/累計													
2 リサイクル量の削減	1 リサイクル量の把握と分別徹底	製造 ea委員会	分別徹底のPR												分別徹底のPR
		数値 評価/累計													
3 コピー用紙の使用量削減	1 再利用可否の分別徹底 資料の電子化(ペーパーレス)	総務 望月	分別徹底のPR												分別徹底のPR
		企画 内田	会議資料の事前電子配布 電子資料による会議トライ												分別徹底のPR
	数値 評価/累計														

3.上水道量の削減

取組目標	活動項目	推進部門 推進担当者	2017年度 スケジュール												評価
			2016年10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 上水道使用量の削減	1 漏水有無の確認 節水呼びかけによる使用量削減	技術 ea委員会	月次チェック->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	->	
		製造 大川K, 長谷川K	節水の呼び掛け												->
	数値 評価/2カ月毎														

4.化学物質の削減

取組目標	活動項目	推進部門 推進担当者	2017年度 スケジュール												評価
			2016年10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1 化学物質含有材料の購入量削減	1 はんだ購入量の把握 はんだ廃棄量の削減	総務 望月	購入量の把握												
		技術 専務	はんだ廃棄方法の検討												
	数値 評価/2カ月毎	0.83	0.59	0.98	0.69	0.95	0.9								

Ⅷ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1.環境関連法規等の遵守状況

評価日：2016年9月30日

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	届出等確認日	遵守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板(60cmx60cm)	-	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	契約書	-	
	委託契約書の保管	5年間	-	
	マニフェストの管理	5年間	-	
	マニフェストの交付状況報告	4/1~6/30	2016年6月24日	
騒音規制法 静岡県生活環境保全条例	適用される騒音基準の遵守	空気圧縮機	-	○
		37kw 1台	2013年3月25日	
		15kw 1台	2007年3月13日	
振動規制法 静岡県生活環境保全条例	適用される振動基準の遵守	圧縮機	-	○
		37kw 1台	2013年3月25日	
		15kw 1台	2011年10月6日	
浄化槽法	浄化槽の水質に関する検査	保守点検(年1回)	2016年1月7日	○
		保守点検(年2回)	2016年5月6日	
		保守点検(年3回)	2016年9月5日	
	浄化槽法定検査	法定検査	2016年7月22日	
	浄化槽の清掃	定期清掃(年1回)	2015年10月28日	
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	3ヶ月に1回以上	11月,2月,5月,8月	○
	定期点検の実施	3年に1回	-	
静岡市産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任	山田洋正	2011/6/20 選任	○
	産業廃棄物処理の委託先の 実地確認とその記録の保存		2016年7月7日	
			年1回以上の実地確認	
労働安全衛生法	有機溶剤の安全基準の遵守	安全防具の着用	-	○
	有機溶剤取り扱い作業者の資格取得	健康診断(年2回)	3/11,18 9/8,15	
	産業医による工場環境視察	工場巡視(年3回)	2015年12月3日 2016年3月17日 2016年7月21日	
	通知対象物のMSDSの現場掲示	対象職場	-	
環境測定	工場内の環境測定(有機溶剤)	環境測定(年2回)	2016年2月19日 2016年8月25日	○

2.訴訟等の有無

周辺住民からの苦情・要望等はありませんでした
関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

3.環境関連法規は、年1回見直します。

区代表者による全体評価と見直しの結果

川瀬 昌之

2016年11月1日

(活動期間 2015年10月 ~ 2016年9月)

	項目	確認：(必要に応じて評価・コメント記載)	記入	<input checked="" type="checkbox"/> 代表者
				<input type="checkbox"/> 環境管理責任者
1.見直し関連情報	1 EA21文書	■ :		
	2 環境目標及び目標達成状況	■ : 二酸化炭素排出量の削減が今の取り組みだけでは厳しい。設備更新などの抜本的対策も複数年計画として盛り込む必要がある。		
	3 環境活動計画及び取組実施状況	■ : エコアクション委員会と事務局との連携が足りない。活動計画に対する進捗を毎月発表すること。		
	4 環境関連法要求一覧及び遵守状況	■ :		
	5 外部コミュニケーション・対応記録	■ :		
	6 問題点の是正・予防処置の実施状況	■ :		
	7 取引先、業界、関係行政機関その他の外部動向	■ :		
	8 その他(興津、辻各工場での取組)	■ : エコアクション委員会の活動が見える化する。結果の数値化が必要ではないか。		
2.代表者による 全体評価・ 見直し指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等)		エコアクション・環境に対する取組が定着はしてきているが、活動自体のPR 足りない。社外へも活動内容を発信出来るよう「見える化」をすすめる。 委員会によるパトロールに対するアクションを全社的に広げて、経営メリット 結びつける活動とするよう工夫する。 新規事業が始まったので自社製品を通じての環境取組も活動に取り入れる	
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	2	環境目標・計画	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	3	環境活動計画・取組項目	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	月々の計画達成状況が見えるようにすること
	4	環境に関する組織	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	5	その他のシステム要素	有 ・ <input type="radio"/> 無	
	6	その他(外部への対応等)	有 ・ <input type="radio"/> 無	